

目的		災害等発生後、安全にGHへ帰寮、または家族に引き渡す。	
	流れ	手順	想定されるリスク
1	緊急連絡カードを作成する (事前の準備)	緊急時に備え、連絡票を作成する 連絡票には以下の内容を記載する ① 本人に関すること 氏名、生年月日、血液型、服薬状況、アレルギー等の有無、本人写真 ② 家族に関すること 家族の氏名、連絡先、連絡をとる順番、就労場所の連絡先、担当者	緊急連絡カードの記載が古い情報だった場合、スムーズに連絡を行うことが出来ない。
2	災害・事故等の発生	○災害発生時、GHで過ごされている場合 本人・職員の安全を確保する（別紙防災計画に準ずる） *各職員の安否確認に関してはBIZシステムを活用 1. 安全が確保された後、安全な場所に移動を行う ① 各地域の一次、二次避難場所（各ホームマニュアルに記載） 2. 移動の際に緊急時連絡票綴り、公用携帯を持参する 各利用者緊急時避難袋を持参する 3. 状況を管理者及び危機管理対策本部に連絡する 4. 以下の順番でご家族に連絡を行う ① 電話連絡 ② 災害時伝言ダイヤルの活用 *各ホーム避難場所について、事前にご家族へ通知しておく ○各利用者が就労先にいる場合 1. 市内を4エリアに分け、出勤職員で安否確認を行っていく (のぞみホームズ災害時安否確認用リスト使用) ○夜間に起こった場合 夜間災害時対応表を使用し、状況に応じて担当者が各ホームの確認を行っていく *どのパターンにおいても、避難場所にて安全にご家族へ引き渡すこととする	防災計画に記載された避難場所などを理解していないと二次災害に遭う可能性がある。
3	連絡の内容	連絡の際には以下の優先順位に従い、情報を発信する ① 利用者の安否 ② 避難場所の確認	
4	引き渡しについて	① 利用者の帰宅に関しては、家族の意向に沿ったものとする ② 可能な限り利用者は身元引受人欄に記載のある保護者、家族へ引き渡すこととする 代理人等の場合、複数職員で確認を行っていく。	